

2021年04月19日 15面

文字サイズ 小 中 大 [ブックマーク](#) [印刷](#) 

支店長／日本道路四国支店長・細田武志氏／挑戦する気持ちを前面に



細田武志氏

初めての四国勤務。「新鮮な目で良さも悪さも正当に分析し、良い点を伸ばし悪い点は改善したい。『現状維持は最大のリスク』が社内の合言葉でもあり、常に新しいことに挑戦するために、前例を進んで作る雰囲気醸成させていきたい」と抱負を語る。「コロナ禍、働き方改革など環境は目まぐるしく変化しており、一度決めたことに固執することなく、臨機応変な対応を心掛けていく」とも。

支店運営のキーワードに「見逃し三振よりフルスイングの空振り三振」を掲げる。「挑戦する勇気を持てるよう背中を押ししたい。仲良しグループではなく、同じ目標に向かう強いチームを作りたい」。

支店の強みである官公庁を堅固な柱に、学校施設・スポーツ関連施設に注力した新規開拓で受注拡大を目指す。「アスファルト合材販売事業との両輪で大きな渦を作りながら、グループ会社である清水建設との人財・情報の連携を強化して大型事業への参画を進めていく」と強調する。

人材確保も大きなテーマ。「専門学校、高校生をターゲットに、未来を担う人財獲得に向け、自ら率先して採用活動を進めていく」。働き方改革についても「社内に導入される新システムを最大限活用することでさらに改革をけん引したい」と語る。

趣味は学生時代から続けている水泳。マスターズ大会にも出場している。始めたばかりの料理を離れた家族に振る舞うのも楽しみの一つ。

(ほそだ・たけし) (4月1日就任。北海道大学工学部土木工学科卒。神奈川県、48歳)

記事ID : 3202104191505

---

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます